

令和3年7月17日  
北関東フォーラム  
於：シムックス

**中斎塾 北関東フォーラム  
令和3年度 第7回**

おはようございます。ズームで参加して下さる方が増えて来たようで、大変嬉しく思っています。また、今日は70分の講話のあとで質疑応答の時間があるということで楽しみにしております。

最初に、中斎塾フォーラムに御尽力戴いた先生お二人の訃報をお伝えします。中斎塾フォーラムの顧問をして戴いております安岡正泰先生が先週亡くなりました。90歳とのことでした。安岡正泰先生は安岡正篤先生の次男で、公益財団法人郷学研修所・安岡正篤記念館の理事長を長らく努められ、昨年、娘の定子さんにバトンタッチをされました。

もう御一方は、郡山茶話会が誕生するにあたり大変お力添えを戴いた渡邊五郎三郎先生です。5月に亡くなられ、50日祭を終えて御家族からお手紙を戴きました。102歳でした。御家族の話では、先生は御自宅でおやつを食べてひと休みされ、眠るが如く大往生されたとのこと、少し安堵しました。五郎三郎先生は私のお送りした中江藤樹を読んで下さっていたようで、「父が最後に読んでいた本が中江藤樹でした」と伺って、有難いことだと恐縮しました。

今のコロナ禍ですから、安岡正泰前理事長も渡邊五郎三郎先生も家族葬で執り行われたそうです。謹んで御冥福をお祈り申し上げ、皆様にお伝え致します。

**喪は哀を致して止む**

では、論語の解説に参ります。私の後に従ってお読み下さい。本日は子張篇の13～15です。登場する子夏も子游も、孔子が亡くなった後、孔子の教えを充実させ広げていった優秀な弟子です。

**【十三】子夏<sup>しか</sup>曰く、仕えて優<sup>い</sup>なれば則ち<sup>すなわ</sup>学び、学<sup>ま</sup>びて優<sup>ま</sup>なれば則ち<sup>すなわ</sup>仕<sup>つか</sup>う。**

子夏が言いました。役人となって、今まで学んできた実力で十分に仕事をこなすことが出来、時間も余裕があると思ったなら、更に学びを深める必要がある。孔子の元で一生懸命学び、役人のすべきことがだいたい呑み込めた。これなら充分だと自分も思うし、周り

も認めてくれる。先生から推薦の言葉もある。そこまで来たら、どこの国に仕えても大丈夫だ。

しゅう いわ も あい いた や  
【十四】子游 曰く、喪は哀を致して止む。

子游が言いました。喪にあっては、自分の心が納得するまで悲しむだけ悲しんだら、そこまでしておくの良い。

・・・悲しみ過ぎるなということですよ。

亡くなってほしい3年経てば、亡くなったのだという事を自然に受け入れられるようです。ただ、受け入れられない死もありますね。事件や事故、とても納得できない不慮の死、等です。先日も、ブレーキとアクセルを踏み間違えた記憶はないと言い張った90歳の被告の公判がありました。しかし奥さんと子供さんが亡くなったのは事実ですし、遺族にすれば亡くなったという事実を受け入れることは出来ないのだと思います。ただ、悲しみ過ぎないように・・・ということが、「止む」に入っていると理解して下さい。

誰でも肉親の死には遭うわけです。その時は、悲しむだけ悲しめばよい。泣けるだけ泣けばよい。それで悲しみが癒える事はないとしても、死を素直に受け入れることが出来たなら、心の中で亡くなった家族の収まるべき所が見つかる。私は、そう理解しています。とはいえ、これは難しいですね。私ごとで言えば、母親が97歳で亡くなって、今年で7年になります。母親の死は抵抗なく受け入れることが出来ました。しかし、同じ年に娘が亡くなりましたが、やはり受け入れられません。逆縁の場合は特に難しいと感じます。

しゅう いわ わ とも ちょう よ がた な しか いま じん  
【十五】子游 曰く、吾が友 張や、能くし難きを為す。然れども未だ仁ならず。

子游が自分の友人である子張を批評しています。

子游が言いました。吾が友の子張は、普通の人では出来ないことをやってのける。しかし、まだそれぐらいでは仁とは言い難い。

・・・「あいつは一生懸命やっているが、まだ本物とは言えないではないか。私もまだまだ本物ではないから、一緒に切磋琢磨しようではないか」と捉えるのが一番解釈としては良いように思います。

周りを見渡して、そういう人はいませんか？ とても優秀だけれども、いま一つ信用しがたい。信頼できるけれども、実力に難ありだから頼み事はできない、等々。なかなか全幅の信頼をおいて頼める人はいませんね。しかし、「我が友」と言える友人を作るよう、お互い努力した方が良いと感じます。

この文章の中にはそこまで出て来ていませんが、やはり友人と言っている方も、今のコロナ禍ですから、棚卸しをした方が良からうと思います。

では、現代に置き換えて考えるという所で、今日の論語は自分自身に置き換えて考えてみます。レジュメに書きましたのでご覧下さい。

○仕えて優なれば則ち学び、学びて優なれば則ち仕う・・・自分は今の仕事を余裕をもってやっているかどうか。

自分に置き換えて考えると、私は今年、また現役に復帰しましたから、処理しなければならない事が多いこと多いこと。瞬間的に判断し、決済しなければならないし、何か文章を書く必要もある。そこで私は優先順位をつけて、分けながらやっています。

ですから私自身は今、なるべく余裕を作ろうと努力をしています。余裕を作るために一番気をつけているのは、睡眠時間の確保です。最低でも 8 時間睡眠をとらないと身体がもちません。余裕をもって動くためには、9 時間くらい必要です。おかげ様で、寝ている間は熟睡出来るようになりましたから、これは有難いと思っています。現在は、熟睡 8 時間だと十分なエネルギーが確保出来ています。

ということで私はこの論語を、余裕をもって仕事出来るかどうかは睡眠時間に直結している、と思って読みました。皆さんも自分が一日の動きの中で余裕をもって動いているかどうか、どういう事をすると余裕が持てるのか、突き詰めて考えて戴くとよろしいでしょう。

○喪は哀を致して止む・・・知人が亡くなった時、コロナ禍の中でどうすれば悲しみの気持ちを表せるか考えてみよう。

「喪は哀を致して止む」と読んだ瞬間に、亡くなった友人のことが浮かんで来ました。一人は学生時代からの友人で、東京フォーラムの石崎評議員の御主人です。彼が亡くなって葬儀までの 1 週間、私は遠くへ出かけていても毎日東京に戻って、顔を見て線香を挙げました。ご遺族とも話をする事が出来ました。

もう一人の友人は、御家族が葬儀をしませんでしたので、私は友人・知人に声をかけて、会食をしてその友人を偲びました。

コロナ禍でない時はそういう動きが出来ましたが、残念ながら今は何も出来ません。冒頭にお知らせした安岡前理事長が亡くなられたとの知らせを戴いた時は、すぐに娘さんの定子さんにお悔やみの電話をしました。生憎ご本人が不在でしたので、事務所の方にお悔やみを申し上げました。それで私自身の心は納得しました。渡邊五郎三郎先生の場合も、亡くなったことが分かって直ぐに電話をかけて、御家族の方と話をしました。

自分がどういう気持ちで行動がとれるか。コロナ以前は、亡くなったという知らせを聞くと、すぐに行くか行かないかという判断をしていましたが、今は行ってはならないという状況ですから、連絡を取るようになります。連絡の取り方が、多分その方の日常で身に付いた表現の手段なのだろうと思います。出来ればそれを何かポエムでも残せば良いなあ、というのが今の気持ちです。

○ **吾が友 張や、能くし難きを為す。然れども未だ仁ならず**・・・友人が誰も出来そうもない事をやってのけるが、その評価をどうすれば良いかと考える。

私はこの論語を読んで、<はて自分は、あいつは良いとか悪いとか勝手に言うけれども、そう言うだけの資格があるか？> と瞬間的に思いました。自分自身が他人を評価するだけの能力がありや否や、その人間のどれだけ深い所まで知っているのか・・・、やはり考えざるを得ません。考えれば考えるほど、色々な思いを口に出すことは難しくなります。そうすると、だんだん寡黙にならざるを得ないと感じます。

### 恒例の質問

恒例の質問に参ります。ズームで参加されておられる方も、パソコンの画面でお顔が見えますので、手で大きな○や×を作ってください。何度も申しますが客観ではなく、あくまで主観でお考え下さい。

○ 今年も半年経ちました。半年間、良い日が続いているという方が挙がらない人がいました。その方にお聞きします。

○ 半年の間に、とても良い日が一日でもあったという場合はどうでしょうか。・・・その良い日を拡大解釈すればよいのです。

○ 半年間、嘘をついていない方が挙がりました。では、嘘をつかれた記憶のある方・・・そういう人もいますね。

○ 半年間、有難うと言い、有難うと言われることが多いと思う方

○ 今年は身体の手入れをよくやっていると思う方

ちなみに、最近私は実験をしています。身体の手入れで、75歳が大きな区切りになると思っています。筋トレというとジムに通って腕立てをしたり、キン肉マンになるようなトレーニングのイメージがありますが、75歳以降は金さん銀さんがやっていたようなお年寄り向けの筋トレ、死ぬまで歩ける筋トレを実験中です。

○ この半年間、何かしらの自分磨きを一所懸命やっている方

自分磨きについては、五事を正せばよいと申し上げています。自分磨きをしないと、だんだんお迎えも近くなって来るような気が致しますので、手を挙げられなかった方は出来るだけ自分の身体の手入れをし、自分磨きを致しましょう。

では、眠る直前の質問です。今までは、明日以降のことを過去形で考えるという言い方をしていましたが、単純明快な言葉に切り換えてお聞きすることに致します。

○ 昨晚寝る時に、何か自分のしたい事が出来て良かったなあと思って眠れた方

ちなみに私は、『陽明学のすすめ』の次回作は西郷隆盛を書こうと決めています。8月は赤城山にこもって西郷隆盛の世界にどっぷり浸かるつもりで、今、本の整理をしています。ですから夜寝る時に、<西郷隆盛が上下巻揃って出版出来きて良かったなあ…> とイメージして眠ることにしています。

少しずつ手を挙げる方が増えました。この前は、この質問をした途端に梅川理事が身を乗り出して「はい！」と手を挙げましたので、即お話して戴きました。迫力のある手の挙げ方があるのだなと感じました。

手の挙げ方ということで、少し脱線を致します。私が現役に戻って、シムックスの中で社員にお願いした事が3つあります。一つは挨拶の励行です。社内で、挨拶がきちんと出来ない人がとても増えていました。「挨拶をきちんとしましょう」と言うだけでは効果が無いので、「挨拶日本一を目指そう」と言いました。はるか遠くの目標でも、言う事によって動きが変わります。

二つ目は、「ラジオ体操日本一を目指そう」と言いました。そうしましたら早速、総務部がラジオ体操を指導する先生を探し、その方をお呼びして講習会を開いてくれました。ズームで営業所にも流して、ラジオ体操を1時間かけて教わりました。私はお茶の水の事務所で参加したのですが、私が知っているラジオ体操の仕方とだいぶ変わっていました。ラジオ体操の中にストレッチや筋トレがしっかり入っていることを講師の先生が指導してくれていました。これも、日本一を目指すということで、ラジオ体操をきちんと覚えなければいけないと社員の気持ちが動いたわけです。

最後は、言い古された言葉ですが、「整理・整頓・清潔日本一を目指そう」です。

これらを社内で受け止めて、日本一を目指すという仕組みづくりに入っています。これが出来ると、一つ一つ階段を上ることになるなと思って楽しみにしているところです。いつになるか分かりませんが、仮にラジオ体操の日本一を決めるようなイベントがあれば、<優勝した素晴らしい！> と眠る前にイメージ出来ればよいなと思っています。挨拶も同じで、どこにも挨拶日本一を決めるイベントがなければ、この会社で作っても良いではないかと思いました。

### 近江聖人

本日の紹介書籍は、私の書いた『陽明学のすすめⅧ 人間学講話中江藤樹』（明德出版社）です。

中江藤樹で良いなと思った点は、二つありました。一つは、圭角の人と言われた人間が、「聖人になりたい」という到達し得ないような目標に向かって一生懸命努力していった結果、生きている間に聖人という呼び名が生まれ、亡くなった後は「近江聖人」という言葉が定着をした。あれだけ角のある人間だった藤樹が、目標に向かって日々努力することによって、子供の頃に描いた夢を実現したわけです。人間は、想って実行していけば、たとえ達成出来なくても近い所まで行くことが出来るのだと思います。人間の潜在能力は凄いものだと中江藤樹の生涯を見て感じます。

もう一点は、教育の力は凄いつくづく感じました。先日、障がい者の社会参画を支援しておられる会社の社長さんにお会いして話を伺いました。障がい者の方は非常に熱心に仕事に打ち込んで、五体満足の人よりも凄い仕事をするし、芸術の面でも大変な能力があるとお聞きしました。ひと頃までは、障がい者を雇うことは敬遠されることが多かったですが、その方は、障がい者の能力をもっと社会に広げていきたいと運動しておられ、残る人生を捧げたいとも言っておられました。私もその考えに同感しましたので、そういう方向に向かって動き出しました。

中江藤樹は、その先鞭を担ったと思っています。大野了佐という、今でいう知恵遅れの青年の教育に力を注ぎました。了佐の父親は、息子に武士の道を諦めて他の仕事をさせようと思っていたようですが、本人は医者になりたいという大それた望みを抱いて、藤樹に医学を教えて欲しいと願い出ました。父親もその熱意を汲んで、藤樹に何とか仕込んで欲しいと頼み込んだわけです。

藤樹はその頃には沢山の門人を抱え時間を作り出すのに苦労していましたが、了佐のために古今東西のありとあらゆる医学書を読んで、テキストとなる医学の入門書を書き、それを必死に教えました。しかし了佐は、午前中に教えた事を午後には忘れるような状態で

すから、大変な時間と労力を費やしたのだと思います。そして、藤樹の教育に対する常人離れした情熱と実行力によって、知恵遅れの子供を一人前のお医者さんに育て上げることが出来たわけです。了佐はその後、国に帰って結婚をし、医者としての道を全うしたという記録があります。

ということで、中江藤樹の生涯を見て実感したのは、目標を抱いて実行し続けると素晴らしい結果が出るということ。それから、教育をする者が一番深く学ぶことになるということです。教育に情熱を注げば注ぐほど藤樹自身が教えられ、鍛えられたのだと思います。「聖人になりたい」という目標に向かって進んで行く時に、人を教え育てる経験がなかったら、近江聖人とと言われるまでの境地に達することは出来なかったのではないかと思っています。

### **令和3年を考える**

#### **○辛い・苦しい・むごい年回り**

皆さんにお聞きしますが、ご自分で考えて今年は辛い年だと思う方は手を挙げて下さい。では、苦しいと思う方？ むごいという実感がある方は如何でしょうか？・・・これは、その場その場、その人の立場立場によって受け止め方が変わりますね。例えば、今回の熱海の土砂崩れで身内を亡くされた方は、何とむごい年かと思っておられるでしょう。

辛い・苦しい・むごい年回りと書いたのは、マクロでの考え方です。世界全体を見てこうだとか、日本の国の50年後、100年後を考えて、これはむごい年回りになると書かせて戴きました。

ただ、そのむごいものは未だ出ていません。3.11の大震災の後、現地に行って感じたのは、何とむごい事かと思いました。これから、むごい事が起きるであろうと思っております。熱海の土砂崩れは大変お気の毒ではありましたが、まだ大きなものが出てくると思っています。

#### **○コロナは一步一步人間社会に入り込み、しっかり地歩を固める年回り**

完全にコロナと人間は共存の時代に入って、生活自体も変わりました。ならば、そのスタイルで生きていくということだと私は思っています。

#### **○一気に落ちてゆく人々と、一気に駆け上がる人々が生まれる**

前回、一気に駆け上がる人々が生まれるということについて具体的な例をもう少し調べてお話ししたいと申し上げましたが、出来ませんでした。後ほど岡本理事長からお話戴けるという事ですので、残りの時間は世の中がどんどん変わって来るというお話を致します。

コロナの先に出てくるものが、少しずつ世の中を賑わしています。私が代表取締役会長を務める群馬郵便逓送という会社は運送業です。今、世界的に脱ガソリンの方向が固まりました。結果として、水素ガスを使って車を走らせようとトヨタが先陣を切りました。

JALは空飛ぶ車を2025年には運航させたいという発表をしています。国土交通省は、電動でかつ自動操縦で垂直離着陸の空飛ぶ機体を「空飛ぶ車」と定義付けたということです。官民一体となってコロナの後の時代が進んできたと感じています。

最後に、1週間後に迫ったオリンピックについて一言申します。私は2年ほど前から、オリンピックは出来る訳がないと申し上げて来ました。今現在、オリンピックをやると政府が言っていますから、やるのでしょう。ただ、仮に始まっても選手団から陽性者が続出したら出来なくなります。実態はもうやっていないのと同じです。政府は無理やり、オリンピックを開催したということだけを残したいのだと見えます。お金の問題も当然あります。

私はオリンピックは出来ないと言い続けていましたが、権力を持っていると、出来ない状況下でも「やった」という事だけは残すのだという気がしております。ですから政府は大ウソをついていると感じています。開催までの1週間で感染が広がれば、オリンピックは中止になるかもしれないという言説がじわじわと広がると思いますし、中止すべきだという声が盛り上がりを感じています。

続けて、前回皆さんから戴いたアンケートから、質問にお答えします。

(質問) コロナに対する対応・心構えについて

コロナに関しては先ほども申しましたように、もう人間社会と共存が始まりました。コロナに罹らないために私が気をつけていることは、手洗い(アルコール消毒)、うがい、これは日常生活の中で肝心です。それからこの会場にも二酸化炭素濃度の測定器が置いてありますが、換気に気をつけなければいけません。そして、マスクです。私は時々友人と食事をしますが、お互い食べる時はマスクを外しますが、口に入れたらマスクをするという具合に、マスクの取り外しをごく当たり前にするようになりました。オリンピックが終わったら、コロナの中ですべき生活習慣をごく当たり前メディアに出てくると思います。マスクの活用の仕方、それから新しいマスクも生まれると思っています。

というのは、今のデルタ型ではない、もっと強力な感染力を持ち毒性の強いウイルスが発生して今の倍から3倍のスピードで感染し、当然亡くなる方が多数出ると思っています。

我々は自分自身の身を守るためにも、自分の生活習慣をこれで良しという所まで突き詰めた方が良くと思います。今申し上げた風(換気)と喉(うがい)、ここら辺がポイント

になるような気が致します。あとは、疎開先を探しておくことだと思っています。

(質問) 自分の話の引き出しを作る方法

私は日々、色々なものに対して疑問を持つのです。疑問を持ったら調べます。ネットを見たり、本や資料等、手に入る物をとにかく調べ尽くします。それから重要なことは、現地に行って調べます。現地に行って体験し、現地にある資料を調べると、まるで見えなかった世界が見えてきます。体験することによって、しっかりと引き出しの中にしまわれるべきものが収まって来るとしています。そして、引き出しの中が錆びつかないように時々引き出しを開けて話をする、又は文章にする。それを繰り返しています。

また、私は毎年末に「今年の10大ニュース」を記録しています。それによって心の中に10個の引き出しが出来たこととなります。そういうものを記録し、体験をすることによって、引き出しの中にきっちり収まるわけです。そして、それを時々外に出す。その繰り返しをしています。毎年引き出しをチェックすると同時に、5年、10年の単位で見直しをしています。10年前の引き出しをまた開けてみると、違った視点が出て来ます。

そういうことを60年くらい続けていますから、結構引き出しが増えました。